

一般質問



6月定例会では、6月19日、20日、21日の3日間に渡り、18人の議員が延べ40項目の内容について一般質問を行いました。

今回から初めて一問一答制を導入しています。

一般質問の内容の一部をお知らせします。

一般質問の様子はホームページでご覧いただけます。

HP アドレス <http://www.gikai-tv.jp/dvl-ashiya/2.html>

高座の清

駐車場利用時間等の拡充と旧姓使用について

イーブンあしや
中島 かおり

駐車場の利用時間を市民サービスに役立つよう休日、夜間も含めて拡大し、遊休地の有効利用と収入増にも結びつく駐車場の活用をしてみたい。市民センターを含め具体的にどこを対象に考えているのか。市長が旧姓使用希望の際、議会も含め対応はどうか。

市 本庁舎駐車場の休日、夜間の開放は警備上の問題等がありできないが、社会教育施設等を対象に駐車場の活用の実施を検討する段階になったと考える。遊休地の駐車場への転用も可能な用地は検討をする。旧姓使用は事務上問題のない範囲で認めることになる。

震災ガレキ受け入れと空き家の適正管理

イーブンあしや
松本 義昭

県は今年の四月、県内の各市町に対して震災ガレキの受け入れを要請した。焼

却場のある芦屋浜では不安の声が高まっているが市は受け入れるのか。奥池にある旧大丸の保養所の管理が不十分で近隣住民から苦情が寄せられている。市の対応はどうなっているのか。

市 震災ガレキは安全性や処理方法等基準が示されれば市民の安全・安心の確保を前提に慎重に判断する。芦屋浜自治連合会とは協議が必要と考えている。旧大丸保養所は所有者に文書を送付するとともに、本年五月以降消防本部の見回りを週末・祝日に行っている。

市職員給与の高さは是正を特別職の退職金について
あしや新風会
徳重 光彦

全国一と言われる実質給与・ラスパイレスの是正、諸手当（地域手当・住居手当・特殊勤務手当等）、期末手当の見直しを検討していただきたい。特別職（市長・副市長等）の退職金の高さは是正、特別職退職金制度審議会等の設置を検討していただきたい。

市 ラスパイレス指数の高さは国との職員構成の違いや、定数削減で昇任年齢が若くなったことが原因である。給与制度そのものを見直し適正化を図っていく。特別職退職金は特別職報酬等審議会の答申等を受けたもので、近隣市と比べても本市は低い水準である。

高さは国との職員構成の違いや、定数削減で昇任年齢が若くなったことが原因である。給与制度そのものを見直し適正化を図っていく。特別職退職金は特別職報酬等審議会の答申等を受けたもので、近隣市と比べても本市は低い水準である。



宮川幼稚園

病児・病後児

保育について

イーブンあしや
福井 美奈子

現在、市立芦屋病院敷地内にて「病後児保育」は実施されているが、「病児保育」は実施されていない。神戸市、西宮市では行われている「病児保育」は、子育て社会のセーフティネットの一つとして実現が期待されるが、この件に対し市の見解を問う。

市 病児保育は子育て社会のセーフティネットと

して本市でも今後取り組むべき課題であるが、医療機関の協力や設置場所の問題等難しい課題でもある。病児・病後児保育検討時、芦屋病院の受け入れ体制等から病後児のみとなったが今後も協議を行っていく。

「人にやさしいまちづくり」を目指して

あしや新風会
いとう まい

本市は市域が狭いため交通整備に限界があるが、歩行者の安全確保を目指し、狭い道路の側溝への蓋かけ等が出来ないのか。また通学路の安全見直し、自転車の安全運転啓発について問う。また交通整備に頼るだけでなく、他人を思いやる交通安全意識を願う。

市 側溝の蓋かけは路上駐車が増える等の問題点があり、検討していないが、要望があれば問題点を整理し検討する。通学路の安全は見直しを行い対応を警察等に要望しており、危険箇所は迅速に対応していく。児童への自転車の安全運転教室は今後も継続していく。

中学給食実現決定と芦屋ブランドの活用について

イーブンあしや
青山 暁

懇話会報告を受け、市内中学校給食実現が決定した。今こそ実施に向けスピード感が必要。優れた名古屋方式も研究を希望する。インターネット最上位ドメインに都市名（*city of kyoto*）が使用可能に。認定者にのみ使用を許可し芦屋ブランド正式管理活用に役立てるべき。

市 中学校給食は七月末頃に検討委員会を発足し、年内を別途に方向性をまとめたい。実施方式は将来にわたり芦屋らしさを示せるものを検討していきたい。トップレベルドメインは代理店への営業活動や採算性の確保等、その活用はハードルが高いと認識している。
南海トラフ地震など、巨大地震への備えを

公明党
帰山 和也

長周期地震動等により工レベーターの停止と火災が同時に発生した場合など、

高層建築物に対する災害対策はどうなっているか。また、実施率が低い家具の転倒・移動防止対策について、自力で実施できない高齢者や障がい者に補助制度を創設してはどうか。

市 高層建築物の災害対策はエレベーターを使用できない状況を想定し避難訓練をしている。消防力が不足した際は県内の消防隊へ応援要請を行うこととなっている。家具等の危険防止は広報あしやで啓発を行っている。助成制度の創設は考えていない。

肺炎球菌ワクチンの接種助成について

公明党
徳田 直彦

日本人の死亡原因の第三位は肺炎である。公明党として肺炎球菌ワクチンの公的助成制度の発足を求める署名活動を三月に実施した。短期間だが本市では九千六百七名の署名が集まった。ぜひ、高齢者向けの肺炎球菌ワクチンの公的助成をやっていただきたい。

市 高齢者の肺炎球菌ワ

クチン接種は、厚生労働省から広く接種を促進するのが望ましいとの今年五月の提言を受け、国において定期接種化や財源確保等について検討が行われているところであり、公的助成については国の動向を見極めながら判断をしていく。



宮川幼稚園

芦屋市でしかできない被災地復興の支援策を

あしや新風会
長谷 基弘

五月二十四日と二十五日に宮城県、石巻市と塩竈市に会派四人で被災地の現地視察をしたが、復興事業の区画整理事業ほか復興事業を行った経験やノウハウを活用できるように市OBや職

員経験者による電話相談ホットラインを設置してはどうか。

市 現在職員二名を一年間石巻市に派遣しているが、今後可能な限り後方支援体制を含め、本市全体として被災地の復興の支援を継続していく。OB職員の現地への派遣は難しいが、OB職員によるコールセンターができないか研究を行っているところである。

行政行為は、常に適切な執行を心がけよ

イーブンあしや
中島 健一

行政行為の中でも法令が一定の判断余地を行政に与えている行政裁量は、重要な役割を果たしている反面、その行為自体が問題となることもある。行政裁量が乱用・違法とされないよう常に注意すべきだが、当局はどのように裁量を認識しているのか。

市 適切な行政執行については法令の趣旨・目的を考慮の上、裁量の範囲を逸脱しないよう全体の利益・公益性等を考慮し執行すべ

きと認識している。行政執行の処理基準を事務処理要領で定めるか、要綱として定めるかについても行政の裁量の範囲内と考える。



宮川幼稚園

体育館・青少年センター（全額免除）について

イーブンあしや
重村 啓二郎

市立体育館・青少年センターの利用は、市内在住の青少年の使用と、社会教育関係団体が青少年育成事業を目的に使用する場合に全額免除が適用されるべきだが、実態として市内青少年八割という決め事があるため適用範囲があいまいになっているのではないか。

市 市立体育館・青少年センターの使用料全額免除

は、これまで条例・規則等に合致しない適用はないと認識している。減免の認定は十分な審査を行い適正な運用に努めるとともに、今後、団体登録や、更新時の資格審査を厳密にする等の制度の見直しを行いたい。
異常気象等による浸水被害対策の強化を

新社会党
前田 辰一

市は本年三月、下水道中期ビジョンを策定。浸水被害軽減を課題事項とした。近年マンション化による地形変化、異常気象下での豪雨で従前被害の想定されなかった地域で発生の恐れがある。市はこれまでのような対策を講じ、今後の強化策は何か。

市 宅地開発等への対応は浸透施設の設置指導及び検査を実施しており問題はない。今後の取り組みとして、本年度から実施の雨水貯留施設設置助成等による宅内貯留の促進をしていく。また本市ホームページから各防災情報に接続できる等情報発信を強化していく。

訪問介護の生活援助について

日本共産党
木野下 章

四月から介護保険料が上がり、介護報酬が改定された。サービス時間が短くなり利用者からも事業者からも悲鳴が聞こえる。介護を必要とするお年寄りの尊厳を保持するという法の理念に反していないか。必要なサービス提供が、安心や自立に必要ではないか。

市 訪問介護における生活援助は高齢者が能力を十分に発揮し、自立した生活ができるための支援が目的で、自立につながるサービスが適切に提供されるべきである。今後、現場の第一線にいる事業者等から話を聞き実態把握に努め、制度への要望を国に上げていく。

「あいさつ運動」を市役所内で徹底しよう

あしや新風会
寺前 尊文

市役所内でのあいさつの励行は、来庁者の直接の評価につながる。市役所は最

大のサービス産業であり、市民が気持ちよく行政サービスを受けるため、職員同士が意思疎通の図りやすい職場風土を構築のため、あいさつ運動を徹底し、職員の意識改革を図るべきだ。

市 「あいさつ運動」の推進については、あいさつは社会人の基本であり明るい職場作りにも寄与する。一課一改善運動でもスリーエス運動等複数の課が取り組んできたが全職員の意識として共有されてはいない。今後、あいさつをはじめとした接遇の向上に努める。



宮川幼稚園

市所有の土地・建物の有効利用について

イーブンあしや
畑中 俊彦

市庁舎は誰のものと考え

ているのか、地下一階の食堂と売店の契約の詳細を示されたい。この場所を一般に賃貸すれば条件等により年額最低六百六十万円から二千六百四十万円の収入が見込める。厚遇すぎる職員の福利厚生の見直しを強く指摘し見解を問う。

市 市庁舎は市民の財産である。食堂と売店は庁舎の使用許可を受け職員互助会が運営しており、使用目的から庁舎使用料、光熱水費は徴収していない。福利厚生施設として食堂は必要安い価格で市民・職員に利用されるのが適切であり特に問題はないと考える。

芦屋らしい中学校給食について

日本共産党
森 しずか

実施に向けた検討は画期的。懇話会報告書にある芦屋らしい給食の「芦屋らしさ」を市長・教育委員会はどうか認識するか。市民・保護者から高評価の小学校給食の「質の高さ」はどうか。「おいしさ・安全・栄養面」がそろった自校方式が共通認識

ではないか。

市 全ての小学校に栄養教諭が配置され、独自の献立を自校方式で給食が実施されていることは「芦屋らしさ」といえ、そうした給食の見た目、内容、味が高く評価されていると感じている。実施方式についてはこれから検討委員会で慎重に協議をしていく。



宮川幼稚園

保育所の充実について

新社会党
山口 みさえ

六月一日現在の保育所待機児童は百九十二人になるが、新設保育所の見直しはどうか。また市長は公約で保育所の児童定数を八百十六人から千人にするとして

いるが、すでに要保育児童数が千百人となっており、最重点課題としての本気の取り組みを。

市 新保育所は山手町に定員約七十名の認可保育所を来年四月開所予定であり、南芦屋浜地区への保育所誘致も継続して協議をしている。認可保育所定員の目標は変わっておらず、四年の任期で見えてほしい。取り組みの内容等については市民へ発信をしていく。

災害時に援護が必要な方への対策について

公明党
田原 俊彦

災害時には、地域での助け合いが大切だ。行政にある災害時要援護者の名簿を地域と共有すべきではないか。国が進める避難支援プランを作成すべきと考

えるが、作成計画はあるのか。福祉事業者と連携し、防災研修や訓練を実施すべきではないか。

市 災害時要援護者名簿の共有は個人情報保護の観点から課題があるため審査会へ意見を求める予定である。避難支援プランは全体計画の今年度中の策定を目指している。福祉事業者への避難訓練は今後、施設と自主防災会等が連携した訓練ができるよう支援をした。



宮川幼稚園

市役所本庁舎 閉庁のお知らせ

8月13日(月)から15日(水)までの3日間、節電対策のため市役所本庁舎(経済課・男女共同参画センター)が閉庁されます。それに伴い、市議会事務局も窓口を閉めさせていただきます。

出先施設、ラポルテ市民サービスコーナーは平常通り業務を行います。

常任委員会委員紹介

第二回定例会初日の六月八日（金）に決定した各常任委員会の委員を紹介します。

芦屋市議会の常任委員会は総務八名・民生文教七名・都市環境七名で構成されており、各議案の審査や、請願・陳情の審査などを行っています。

総務常任委員会



徳田 直彦
委員長



徳重 光彦
副委員長



前田 辰一
委員



長野 良三
委員



木野下 章
委員



中島 健一
委員



重村啓二郎
委員



中島かおり
委員

民生文教常任委員会



青山 暁
委員長



山村 悦三
副委員長



寺前 尊文
委員



山口みさえ
委員



福井美奈子
委員



平野 貞雄
委員



田原 俊彦
委員

都市環境常任委員会



長谷 基弘
委員長



帰山 和也
副委員長



いとうまい
委員



都筑 省三
委員



畑中 俊彦
委員



松木 義昭
委員



森 しずか
委員

Report

環境とエネルギーをテーマに議員研修会を開催

平成 24 年 5 月 16 日に、議員研修会として姫路市内の 2 施設を視察しました。

(株)アール・ビー・エヌ家電製品リサイクルプラントでは、使用済み家電製品の解体から再資源化の工程について説明を受けました。環境への負荷を可能な限り低減する資源循環型社会の確立には法整備はもとより、再資源化にかかるコストの削減とリサイクル率の向上が不可欠であると感じました。

大阪ガス(株)姫路製造所では、都市ガスの供給ネットワーク、老朽ガス管の入れ替え計画等について説明を受けました。特に、地震に備えた予防対策、復旧対策に関し多くの議員が質疑を行い、担当者との活発な意見交換を行いました。



ブラウン管解体工程の見学

議長・副議長などを選出 新しい議会体制整う

第2回定例会初日の6月8日（金）に議長、副議長をはじめ、議会の役員を選出しました。各常任委員会や議会運営委員会等の委員も選任し、議会の新体制が整いましたので、紹介します。



長野 良三
議長



平野 貞雄
副議長

- 議長 長野 良三
- 副議長 平野 貞雄
- 阪神水道企業団議会議員 中島かおり
- 監査委員（議会選出） 田原 俊彦
- 各常任委員会7ページに掲載
- 議会運営委員会
 - 委員長 畑中 俊彦
 - 副委員長 寺前 尊文
 - 委員 都筑 省三 木野下 章
重村啓二郎 徳田 直彦

総務常任委員会 市立芦屋高校跡地を視察

総務常任委員会は、六月二十二日に、市が売却を予定している市立芦屋高校跡地の視察を行いました。市有地部分は補強工事をし、土砂災害特別警戒区域の指定が解除となりましたが、隣接する林野庁区域に特別警戒区域の指定が残ったまま売却が進められようとしている



市立芦屋高校跡地

ため、今後も注視していく必要があります。

編集後記

六月の本会議より、一般質問で、一問一答方式が始まりました。これまでの質問に比べ、より議論が深まり、傍聴者にもわかりやすい質疑になることを目指しています。

六月の本会議より、一般質問で、一問一答方式が始まりました。これまでの質問に比べ、より議論が深まり、傍聴者にもわかりやすい質疑になることを目指しています。

六月の本会議より、一般質問で、一問一答方式が始まりました。これまでの質問に比べ、より議論が深まり、傍聴者にもわかりやすい質疑になることを目指しています。

六月の本会議より、一般質問で、一問一答方式が始まりました。これまでの質問に比べ、より議論が深まり、傍聴者にもわかりやすい質疑になることを目指しています。

（編集委員）
田原 俊彦

（編集委員）
山村 悦三

9月定例会日程（予定）

芦屋市議会では、本会議・常任委員会・特別委員会・議会運営委員会の傍聴が可能です。ぜひ一度傍聴にお越しください。また、本会議はインターネットで生中継をしています。

月	火	水	木	金	土	日
9/3	4	5	6	7	8	9
議会運営委員会	本会議 (提案説明)	都市環境 常任委員会	民生文教 常任委員会	総務 常任委員会		
10	11	12	13	14	15	16
	議会運営 委員会	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議(予備日) 決算 特別委員会		
17	18	19	20	21	22	23
	委員会 (予備日)					
24	25	26	27	28	29	30
議会運営 委員会	本会議 (表決)	決算 特別委員会	決算 特別委員会	決算 特別委員会		
10/1	2	3	4			
		議会運営 委員会	本会議 (表決)			

- 本会議・委員会の開始は、原則午前10時からです。
- 傍聴希望の方は事前に時間をお確かめの上、本会議は市役所南館4階傍聴受付、委員会は市役所南館3階市議会事務局までお越しください。